

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(80歳代女性, 10歳代女性)(第46週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は67例となっています。
京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
 - 京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
 - 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は12.45(523例)となり、前週13.57(570例)からわずかに減少しましたが、過去5年平均値を依然として大きく上回る状態が続いています。手洗いの励行などにより感染を予防しましょう。予防方法等詳細については下記URLをご参照ください。
 - 保健医療課ホームページ「感染性胃腸炎に注意!!」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.86(36例)となり、前週0.62(26例)から増加しました。前々週0.31(13例)から急増しており、京都市過去5年平均値を2週連続で大きく上回っています。
- ・ 感染症法第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(一部改正)
平成28年11月21日から届出基準及び届出様式の一部が改正されました。改正の詳細については下記ホームページでご確認ください。
 - 厚生労働省通知(厚生労働省ホームページ)
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000142154.pdf>
 - 感染症発生動向調査事業に関する届出様式(保健医療課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000043726.html>

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

- ・ 京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は0.62(43例)となり、第45週以降、増加が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(肺結核 2例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 305例(肺結核 161例, その他結核 69例, 潜在性結核感染者 75例)うち喀痰塗抹陽性 76例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例(第46週追加報告分)【1月以降の累積報告数 67例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

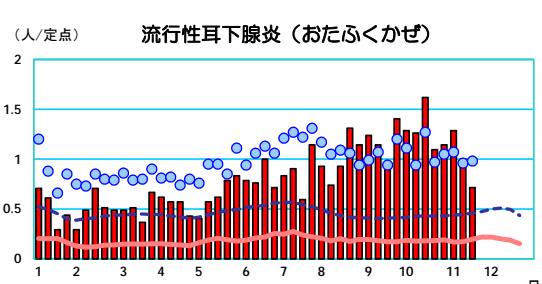
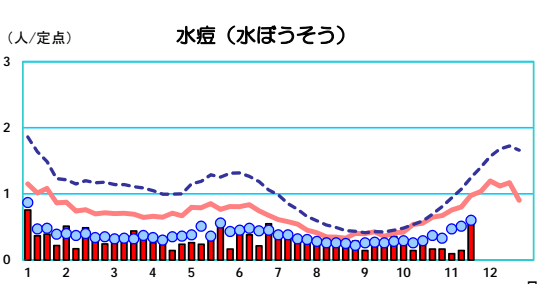
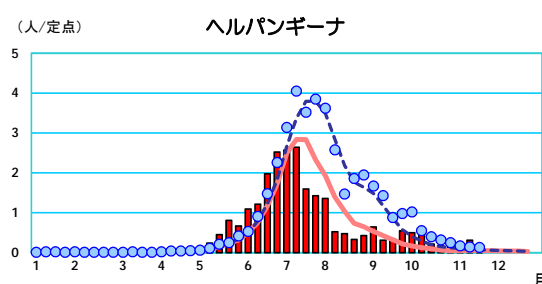
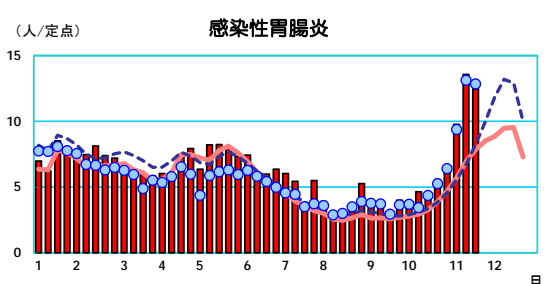
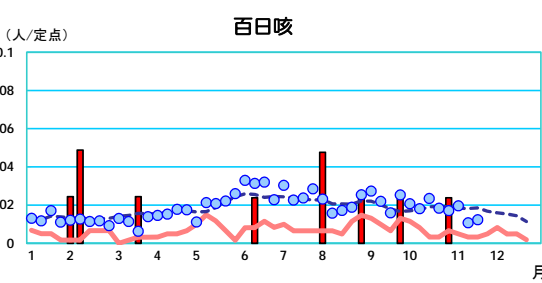
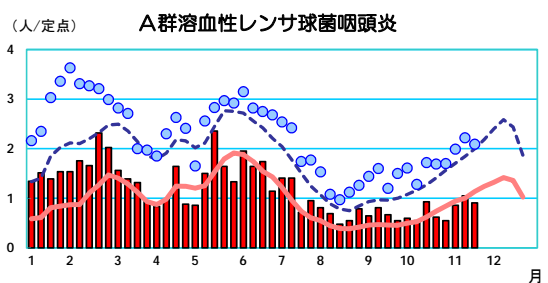
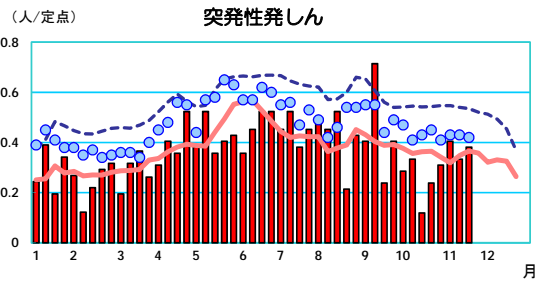
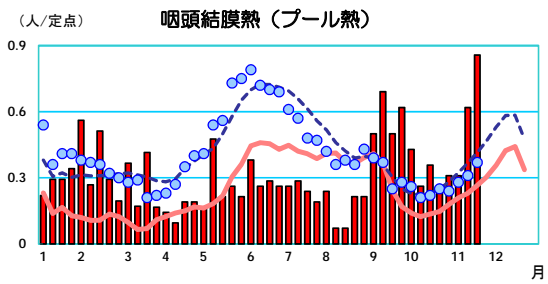
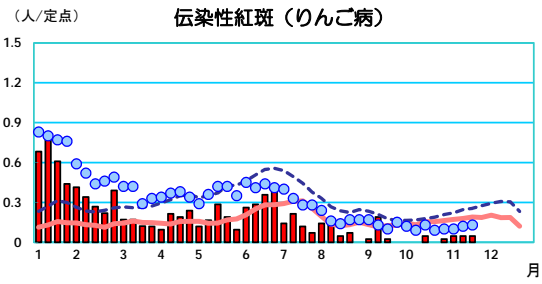
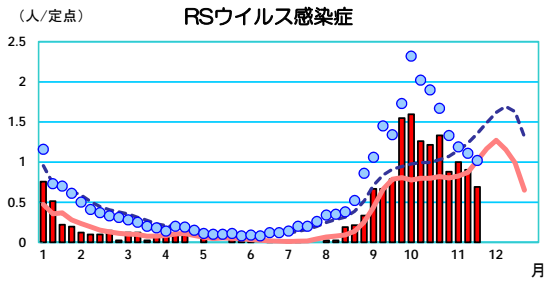
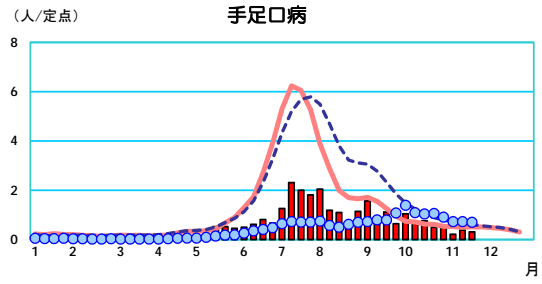
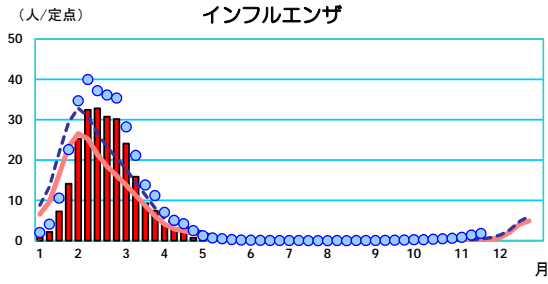
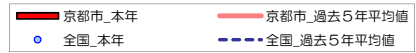
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.62	43
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	12.45	523
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90	38
	③ 咽頭結膜熱	0.86	36
	④ 流行性耳下腺炎	0.71	30
	⑤ RSウイルス感染症	0.69	29
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年11月30日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第47週(11月21日～11月27日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市及び全国の発生動向

京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は0.62(43例)となり、第45週以降、増加が続いています(図1)。また、本市の過去5年間と比較して、最も報告数の多い状況が続いています(図2)。行政区別にみると第47週になり、11区すべてで報告(0.27～1.00)がありました(図3)。全国でも報告数の増加が続いており(図1)、第46週に流行期入りの目安とされる「1」を上回ったことから(図4)、厚生労働省は平成28年11月25日、流行シーズン入りを発表しました。都道府県別では多い順に沖縄県、栃木県、福井県、岩手県、北海道となっており(図4)、近畿6府県については京都府と和歌山県を除く4府県で定点当たり報告数が「1」を超えています。本市においても患者数がさらに増加していくものと推測されることから、今後の発生動向に注意が必要です。

症状及び予防

潜伏期間は1～3日間で38℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが現れ、咳、鼻汁などの呼吸器症状が続きます。通常、約1週間で軽快しますが、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いことが特徴です。小児や高齢者、免疫機能が低下している患者では、肺炎や脳症等、重症化することがあります。

予防方法としては、咳エチケット(マスクをしたり、咳をする際にティッシュやハンカチで口を覆う)や、流水・石鹸による手洗いが重要です。また、インフルエンザワクチンの接種は発症の阻止や重症化予防の効果が一定程度認められています。高齢者は定期的予防接種の対象となっており、詳細については下記ホームページを御覧ください。

○高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ(保健医療課ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000109807.html>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

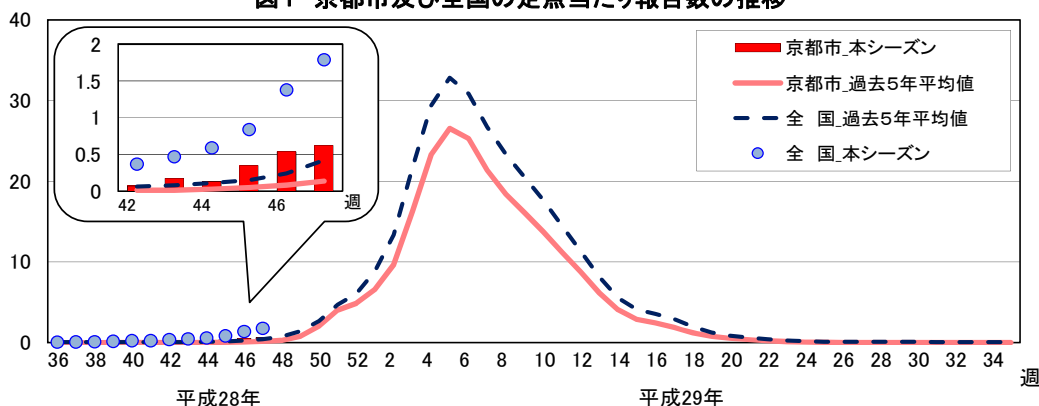


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2011年以降)

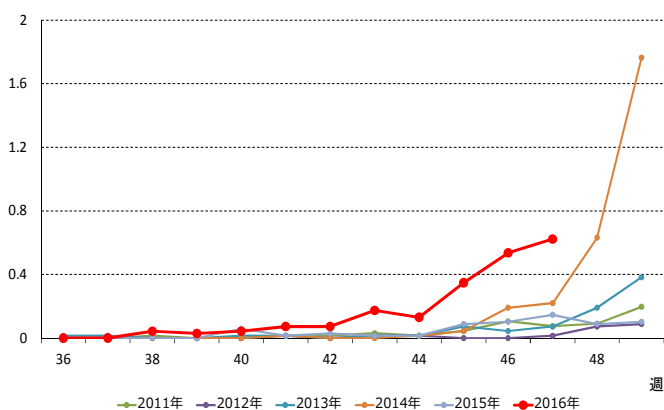


図3 行政区別定点当たり報告数の推移(京都市)

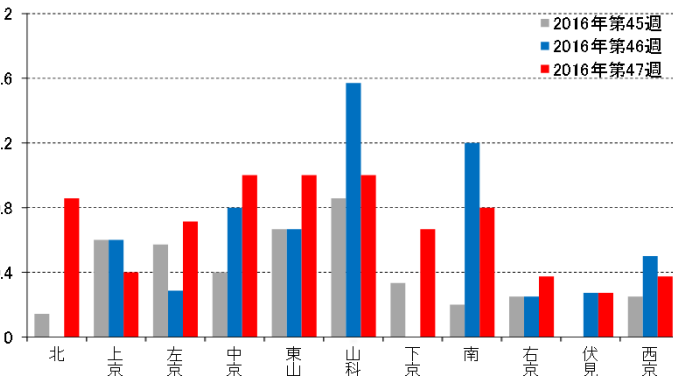
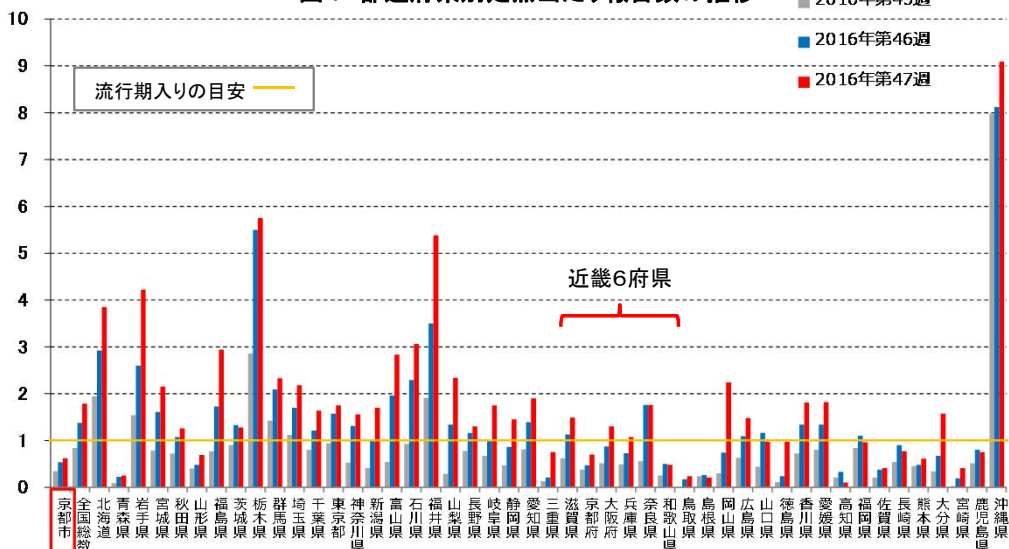


図4 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第47週

疾病,行政区別報告数

平成28年11月21日～平成28年11月27日

データ入手日:平成28年11月30日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	6	2	1	-	5	-	-	-	-	-	-	1	-	2						
上京	2	5	1	3	15	-	1	-	-	-	1	1	-	1						
左京	5	-	2	3	111	1	1	-	3	-	-	2	-	-						
中京	5	2	2	1	29	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	
東山	3	3	-	-	31	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
山科	7	6	-	2	3	1	-	-	4	-	-	4	-	-						
下京	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	4	1	4	2	32	1	1	-	2	-	-	-	-	-						
右京	3	4	18	11	91	5	5	-	2	-	-	5	-	1						
伏見	3	2	6	8	119	-	4	1	4	-	1	12	-	-						
西京	3	3	2	8	85	15	1	1	1	-	-	4	-	-						
京都市計	43	29	36	38	523	23	13	2	16	-	4	30	-	5	-	-	1	-	-	

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.86	0.50	0.25	-	1.25	-	-	-	-	-	-	0.25	-	2.00						
上京	0.40	1.67	0.33	1.00	5.00	-	0.33	-	-	-	0.33	0.33	-	1.00						
左京	0.71	-	0.50	0.75	27.75	0.25	0.25	-	0.75	-	-	0.50	-	-						
中京	1.00	0.67	0.67	0.33	9.67	-	-	-	-	-	0.33	0.33	-	0.50	-	-	1.00	-	-	
東山	1.00	1.50	-	-	15.50	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-						
山科	1.00	1.50	-	0.50	0.75	0.25	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-						
下京	0.67	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.80	0.33	1.33	0.67	10.67	0.33	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-						
右京	0.38	0.80	3.60	2.20	18.20	1.00	1.00	-	0.40	-	-	1.00	-	1.00						
伏見	0.27	0.29	0.86	1.14	17.00	-	0.57	0.14	0.57	-	0.14	1.71	-	-						
西京	0.38	0.60	0.40	1.60	17.00	3.00	0.20	0.20	0.20	-	-	0.80	-	-						
京都市計	0.62	0.69	0.86	0.90	12.45	0.55	0.31	0.05	0.38	-	0.10	0.71	-	0.50	-	-	1.00	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第47週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年11月21日～平成28年11月27日

データ入手日:平成28年11月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳	5歳	10歳	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	43	-	1	2	1	3	3	4	1	-	-	1	3	2	7	5	2	4	3	-	1	
RSウイルス感染症	年齢2	29	10	6	9	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	年齢3	36	-	2	9	7	4	5	5	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	38	-	-	1	-	3	7	6	2	4	5	5	4	-	1	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	年齢1	523	1	22	60	69	63	55	50	41	29	23	17	37	18	38	-	-	-	-	-	-	
水痘	年齢2	23	-	-	1	4	2	2	3	2	2	1	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	
手足口病	年齢3	13	-	1	2	3	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	年齢4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	年齢1	16	-	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	年齢3	4	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	年齢4	30	-	-	1	2	4	3	2	2	3	4	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	1	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当たり報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳	5歳	10歳	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.62	-	0.01	0.03	0.01	0.04	0.04	0.06	0.01	-	-	0.01	0.04	0.03	0.10	0.07	0.03	0.06	0.04	-	0.01	
RSウイルス感染症	年齢2	0.69	0.24	0.14	0.21	0.05	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	年齢3	0.86	-	0.05	0.21	0.17	0.10	0.12	0.12	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	0.90	-	-	0.02	-	0.07	0.17	0.14	0.05	0.10	0.12	0.12	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	年齢1	12.45	0.02	0.52	1.43	1.64	1.50	1.31	1.19	0.98	0.69	0.55	0.40	0.88	0.43	0.90	-	-	-	-	-	-	
水痘	年齢2	0.55	-	-	0.02	0.10	0.05	0.05	0.07	0.05	0.05	0.02	0.05	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	
手足口病	年齢3	0.31	-	0.02	0.05	0.07	0.10	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	年齢4	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	年齢1	0.38	-	0.07	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	年齢3	0.10	-	0.05	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	年齢4	0.71	-	-	0.02	0.05	0.10	0.07	0.05	0.05	0.07	0.10	0.10	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.10	0.10	0.10	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢1	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第47週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年11月30日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		5	12	9	24	37	43
RSウイルス感染症		51	56	37	42	38	29
咽頭結膜熱		15	11	13	13	26	36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	26	23	36	44	38
感染性胃腸炎		176	234	262	410	570	523
水痘		11	7	7	4	6	23
手足口病		32	21	23	9	16	13
伝染性紅斑		2	-	1	2	2	2
突発性発しん		5	10	13	17	14	16
百日咳		-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ		9	7	9	4	13	4
流行性耳下腺炎		68	46	48	54	42	30
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	1	5	3	1	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		417	431	451	618	809	763

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.07	0.17	0.13	0.35	0.54	0.62
RSウイルス感染症		1.21	1.33	0.88	1.00	0.90	0.69
咽頭結膜熱		0.36	0.26	0.31	0.31	0.62	0.86
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.93	0.62	0.55	0.86	1.05	0.90
感染性胃腸炎		4.19	5.57	6.24	9.76	13.57	12.45
水痘		0.26	0.17	0.17	0.10	0.14	0.55
手足口病		0.76	0.50	0.55	0.21	0.38	0.31
伝染性紅斑		0.05	-	0.02	0.05	0.05	0.05
突発性発しん		0.12	0.24	0.31	0.40	0.33	0.38
百日咳		-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.21	0.17	0.21	0.10	0.31	0.10
流行性耳下腺炎		1.62	1.10	1.14	1.29	1.00	0.71
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	0.10	0.50	0.30	0.10	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		10.19	10.23	11.04	14.72	18.99	19.12

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。